

DSベランダステップ

取 扱 説 明 書

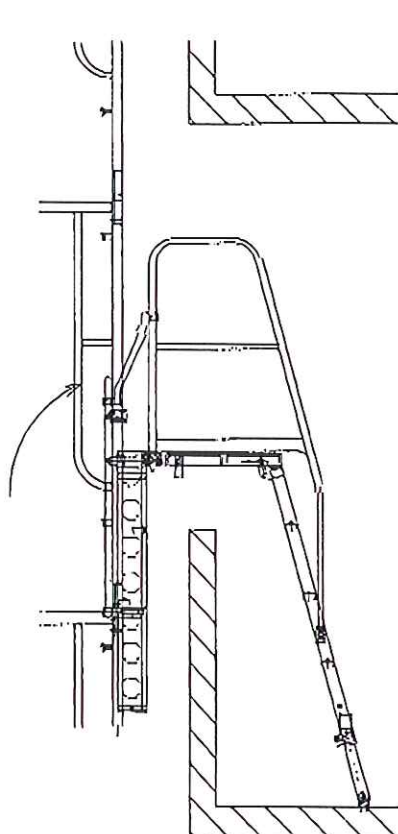
安全にご使用頂くために、この説明書をよくお読みの上正しくお取扱い下さい。

DAISAN

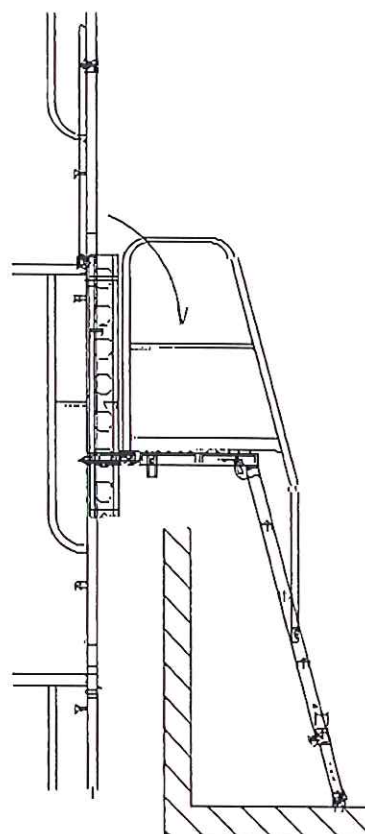
1. 用途と構造の概要

1-1 用途

DSベランダステップは、ベランダ手摺を超えて枠組足場と建築物との通路として設置します。



足場から上る場合



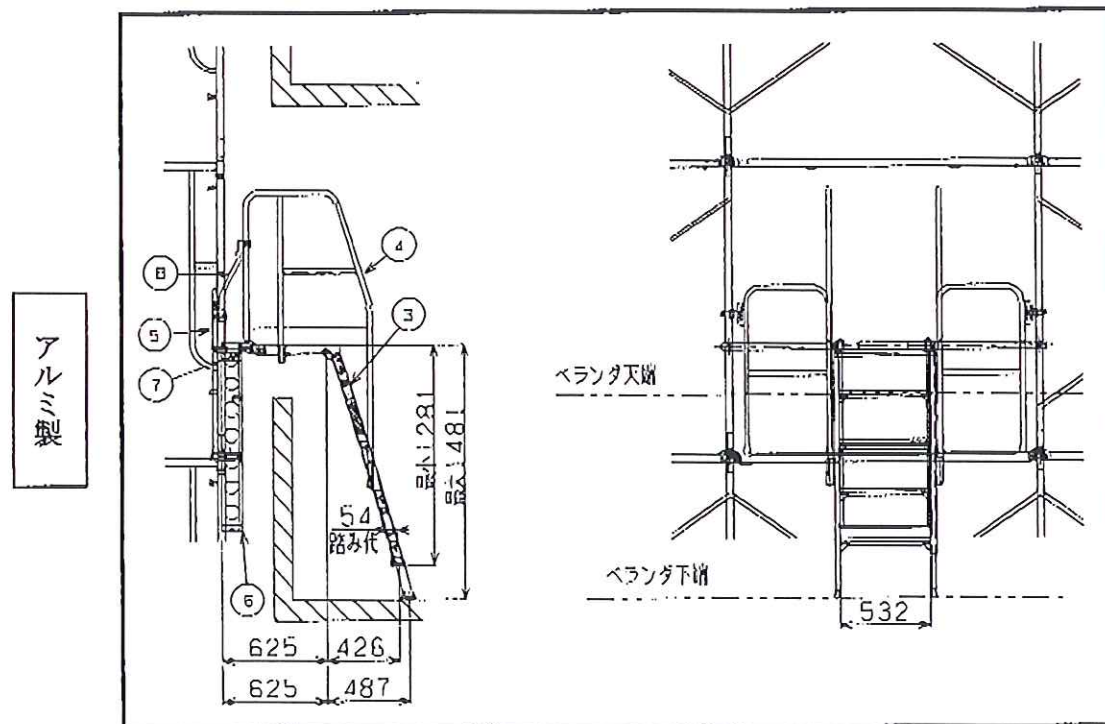
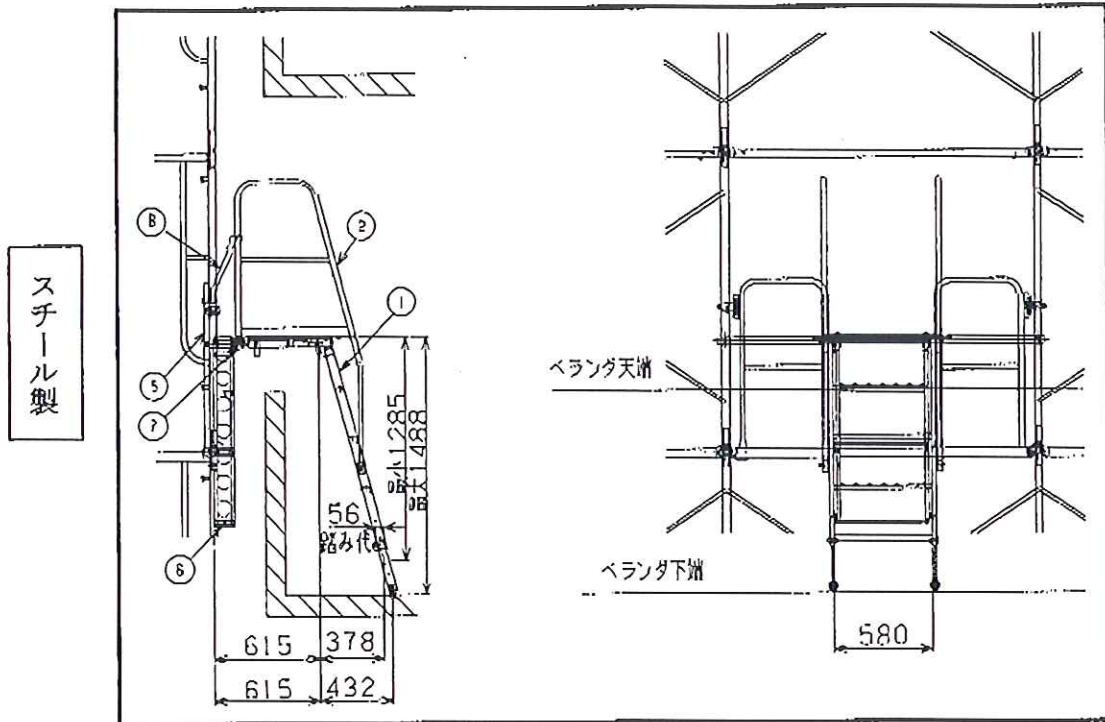
足場から降りる場合

1-2 構造の概要

DSベランダステップは、階段本体、階段手すり、水平材からなる「躯体側昇降設備」と、手すり枠、補助梯子からなる「足場側昇降設備」と、補強材とで構成し、足場の状態に応じて組み合わせて設置します。

2. 全体の構成図及び構成部材、性能

2-1 構成図

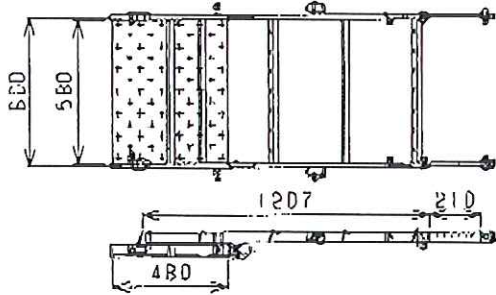


DAISAN

2-2 構成部材一覧

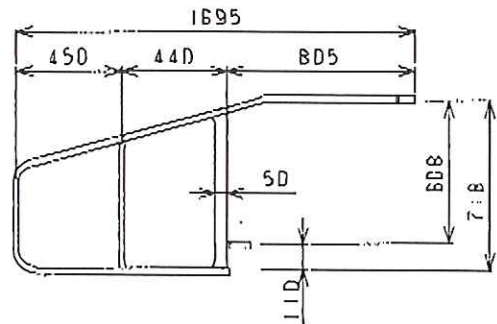
構成部材 (概略図、型式及び主要寸法)

1. ベランダステップ本体 (VS-600)



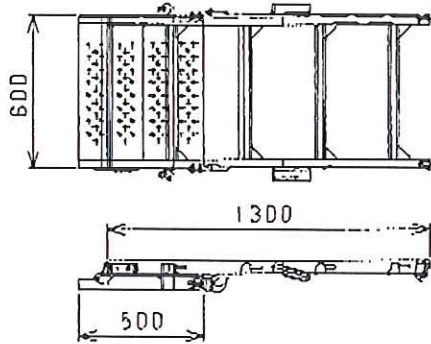
※スチール製

2. ベランダステップ手摺 (VST-0709)



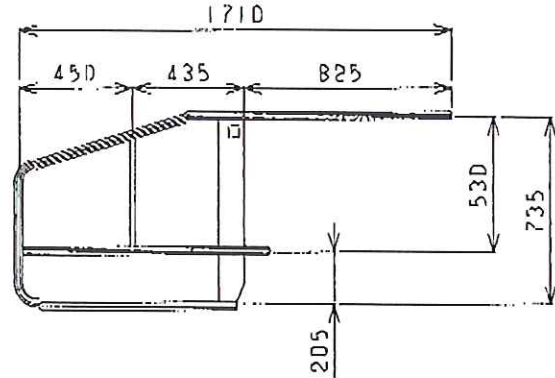
※スチール製

3. ベランダステップ本体AL



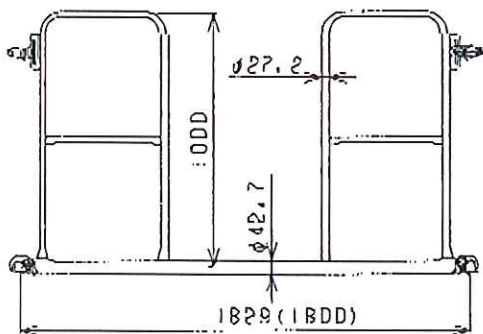
※アルミニウム合金製

4. ベランダステップ手摺AL



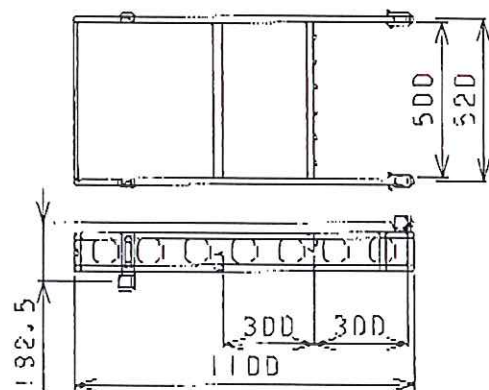
※アルミニウム合金製

5. ベランダステップ手摺柱 (VSW-1810F)



※括弧内寸法はメーターサイズ VSW-1810M

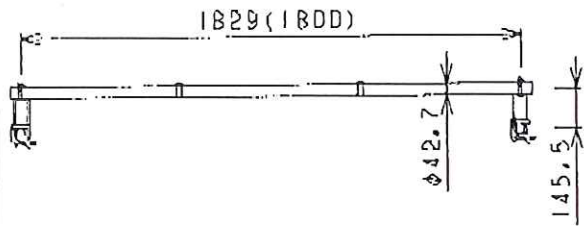
6. ベランダステップ補助梯子 (VSH-0511)



DAISAN

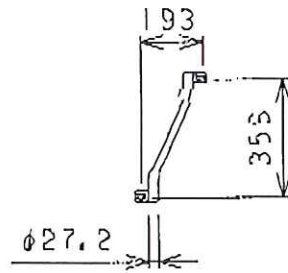
構成部材（概略図、型式及び主要寸法）

7. ベランダステップ水平材 (VSB-18F)



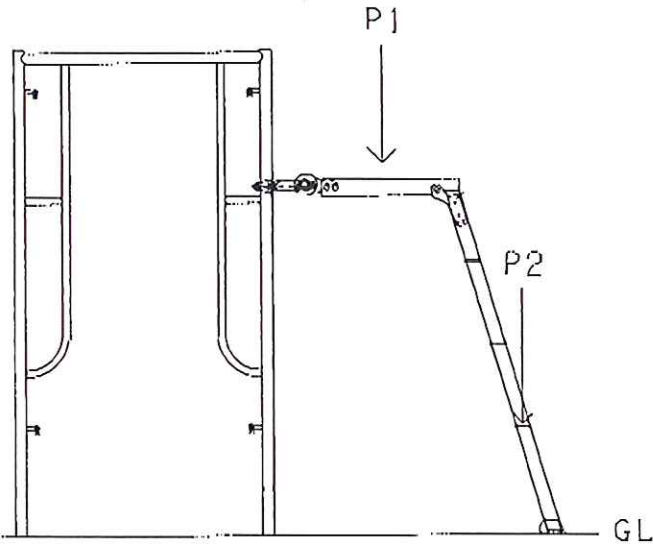
※括弧内寸法はメーターサイズ VSB-18M

8. ベランダステップ補強材 (VSS)



2-3 ベランダステップの性能

建枠に水平材を取り付け、ベランダステップ（スチール製）を設置して集中荷重をかけた試験の結果は以下の通り。



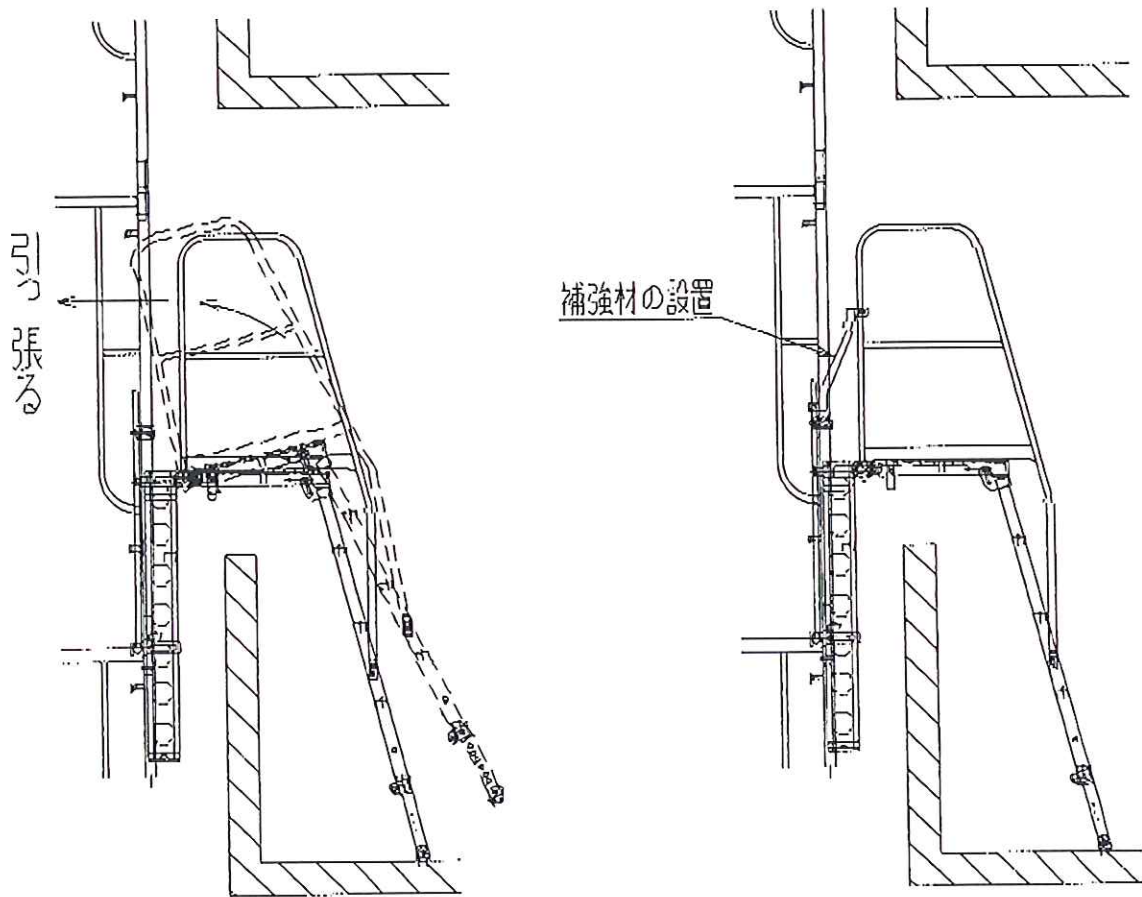
	たわみ量 (3.92 kN時)	最大荷重
天板 (P1)	4.1 mm	13.1 kN
踏棧 (P2)		15.2 kN

許容支持力：1.47 kN (150 kg)

DAISAN

3. 設置基準

- 1) ベランダステップを設置する箇所の枠組足場のブレースは外す必要がありますので、墜落防止のため、手摺枠を必ず設置してください。
- 2) ベランダステップ本体天板と枠組足場の作業床の高さが概ね30cmを超える場合は、昇降時の危険回避のため、補助梯子を必ず設置してください。
- 3) クランプ、ボルト類は、しっかりと締め付けてください。
- 4) 枠組足場からベランダステップに上る場合で、天板と作業床の高さが30cm以上の場合は、昇降時にベランダステップ手摺を引っぱる形になり、ベランダステップ本体のつかみ金具を支点として回転し、転倒するおそれがありますので、手摺と手摺枠に補強材を設置して下さい。

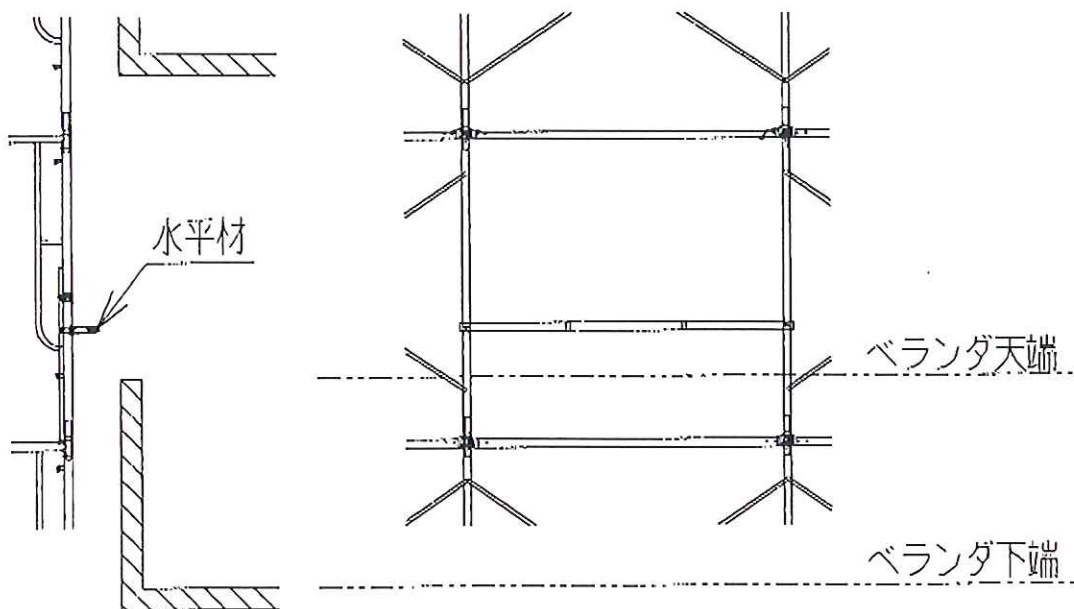


4. 組立及び解体手順

4-1 組立方法

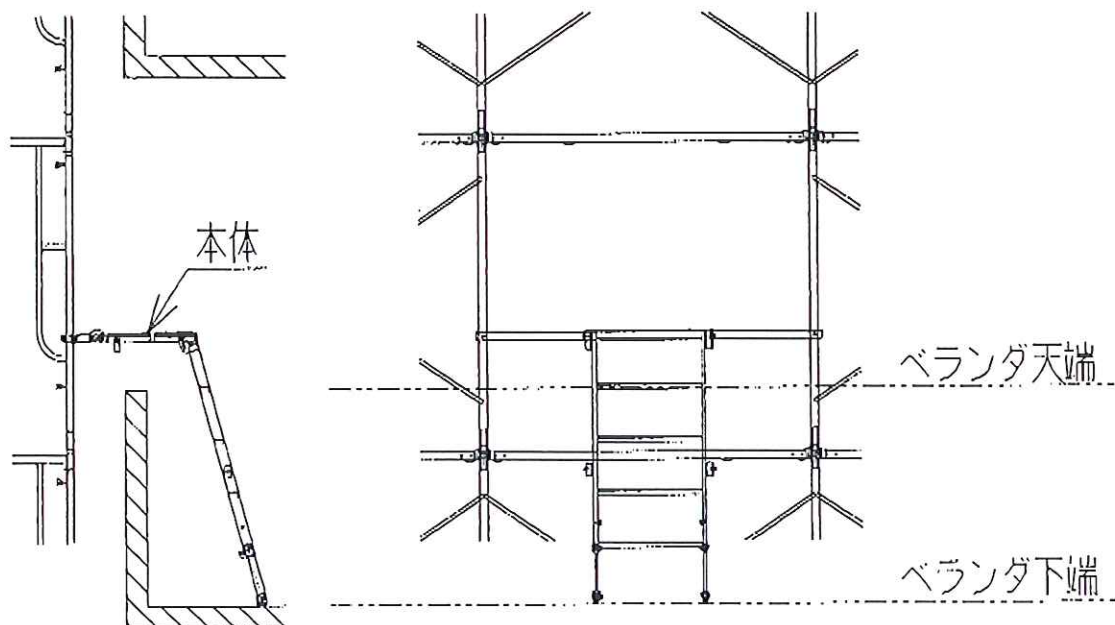
①足場に、水平材を取り付けます。

水平材は、ベランダの天端（仕上がり）よりも少し上の位置に取り付けます。



②水平材に本体をセットします。

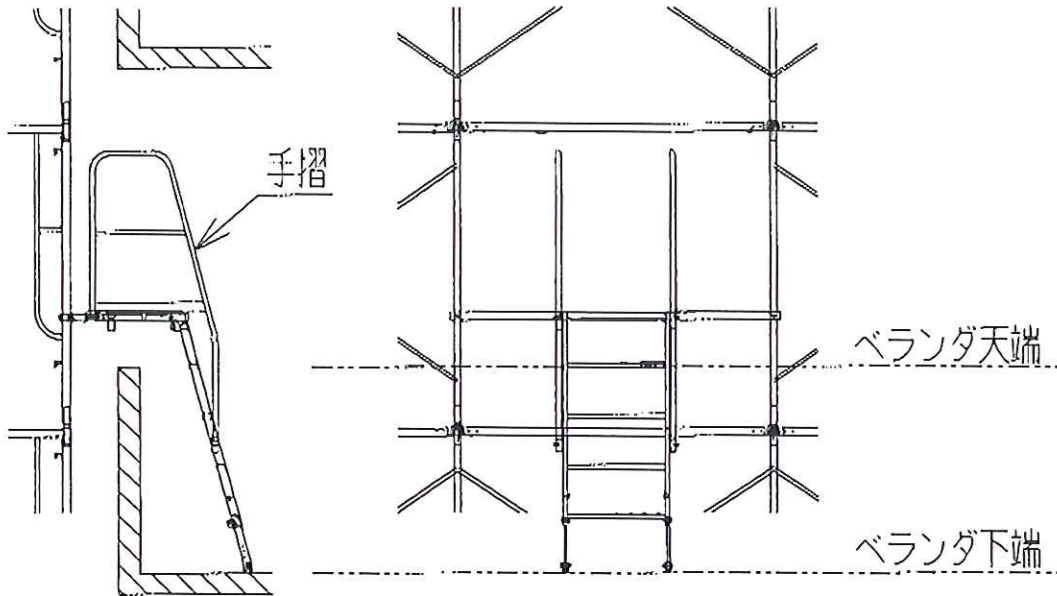
本体の天板が水平になるよう、脚部を伸縮させて調整します。



DAISAN

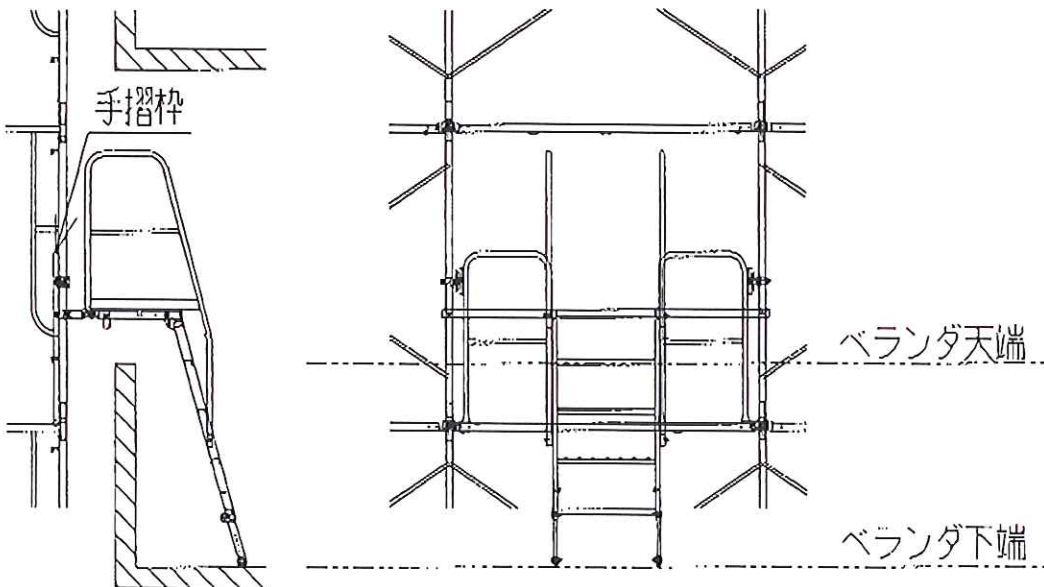
③手摺を本体に取り付けます。

手摺は、本体の手摺受け部のボルトを軽く締め付けて固定します。



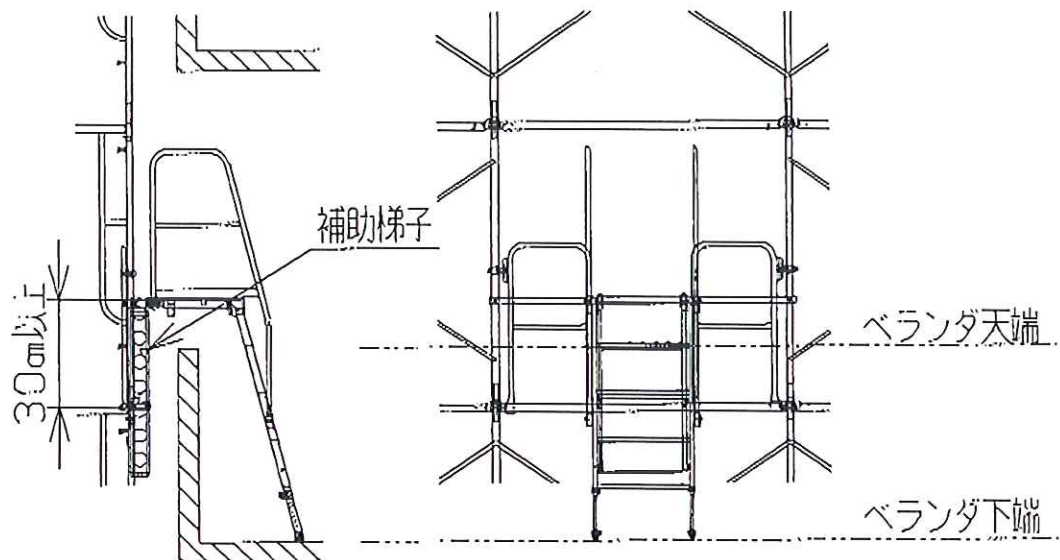
④足場の昇降する箇所の交差筋交いを外し、手摺枠を取り付けます。

手摺枠のカブラーを締め付け、建枠に固定します。

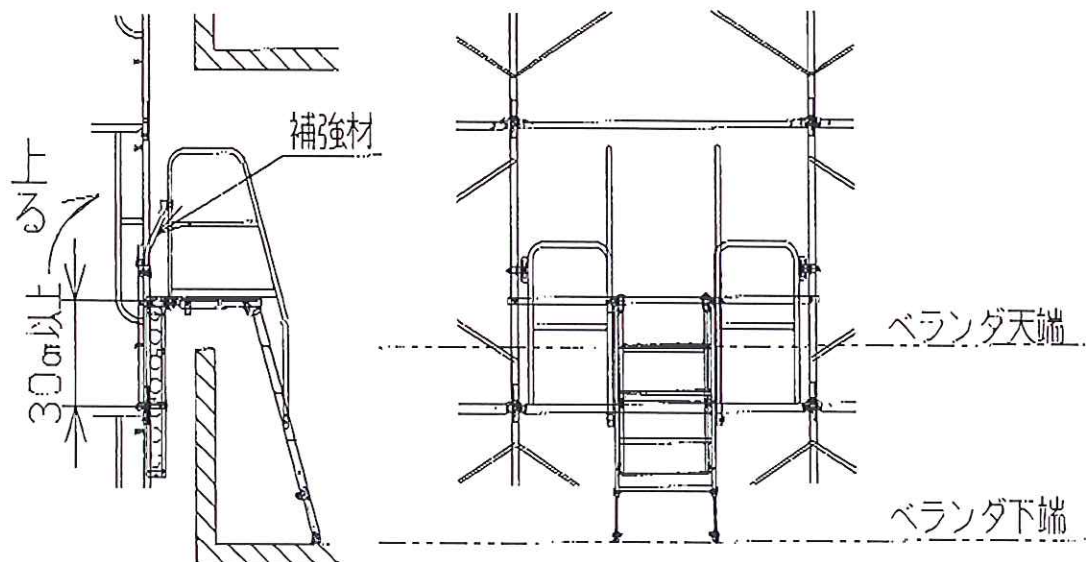


DAISAN

- ⑤本体の天板と足場作業床との高さが概ね30cm以上の場合は、補助梯子を水平材と手すり枠の間に取り付けます。
補助梯子は、下側をスライド金具でセットし、足で踏んだ状態でスライドさせ、上側をロック金具で固定します。



- ⑥足場からベランダステップに上る場合で、高さが30cm以上となる場合は、手摺棒と手摺の間に補強材を設置します。



4-2 解体方法

組立と逆の手順で解体して下さい。

DAISAN

5. 使用上の警告

- 1) 通路以外の用途に使用しないでください。
- 2) 許容支持力の範囲内で使用してください。
- 2) ベランダステップ本体の脚部が浮いた状態で使用しないでください。
- 3) DSベランダステップを取り付ける箇所の周りの交差筋かいは、絶対に取り外さないで下さい。
- 4) 危険ですから、手すりには絶対に乗らないで下さい。
- 5) 仕上げ工事で部材を取り外して作業する場合は、必ず安全帯をご使用下さい。
また、外した部材は、必ず復元して下さい。

6. 保守点検及び設置前の点検

以下に保守点検、及び設置前の点検箇所をあげますので、それぞれ異常がある場合は絶対に設置、使用しないで下さい。

設置、使用すると重大な事故につながりますので必ず遵守して下さい。

- ・ 本体脚部の伸縮調整ロックが正しく機能しているか。
- ・ 各部にがたつきがないか。また、変形、破損していないか。
- ・ 水平材のクランプに異常がないか。
- ・ 各部材の溶接部に亀裂がないか。